

- 問1 東北地方などの農業において、安価な輸入農産物との競争が激しくなる中、国産品の価値を高めて差別化を図るための取り組みが重視されています。このような戦略の内容として最も適切な説明はどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
1. 海外から安価な種苗を大量に導入し、栽培にかかる初期コストを極限まで抑えて生産量を増やす。
 2. 大規模な機械化を徹底的に推し進め、輸入農産物と同等の低価格を実現することのみに専念する。
 3. 農業の使用を減らして安全性を向上させ、生産者の情報を消費者に公開することで信頼を獲得する。
 4. 輸送コストを削減するために、都市部の消費地から離れた地域での農業生産をすべて停止する。
- 問2 宮城県の県庁所在地である仙台市のように、都道府県名と県庁所在地の都市名が異なる自治体があります。これと同じ条件にあてはまる「県名と県庁所在地名」の正しい組み合わせを選びなさい。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 香川県 — 高松市
 2. 佐賀県 — 佐賀市
 3. 新潟県 — 新潟市
 4. 青森県 — 青森市
- 問3 日本の太平洋沖合、特に東北地方の三陸海岸付近では、北から流れてくる寒流の親潮（千島海流）と、南から流れてくる暖流の黒潮（日本海流）がぶつかり合っています。このように、性質の異なる海流が合流する境界の場所を何と呼びますか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
1. 海溝
 2. 大陸棚
 3. 潮目
 4. バンク
- 問4 日本海を南から北へ流れる暖流である「対馬海流」が、東北地方などの日本海側の気候に与える影響を説明したものとして、最も適切なものを選択肢から選びなさい。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 北からの栄養豊富な海水を運ぶことで、冬の時期の日本海側における季節風を弱め、積雪量を抑える役割を果たしている。
 2. 夏に吹く冷たく湿った北東風（やませ）の勢力を弱めることで、東北地方全体の気温を上昇させ、猛暑の原因となる。
 3. 冬に吹く北西の季節風がこの海流の上を通る際、水蒸気を多く取り込むことで、日本海側の地域に大雪をもたらす要因となる。
 4. 周辺の海水温を下げる働きがあるため、夏でも沿岸地域の気温が上がりにくく、涼やかな気候を保つ要因となる。
- 問5 夏の東北地方において、オホーツク海高気圧が発達した際に、冷たい親潮（千島海流）が流れる海域から太平洋沿岸部に向かって吹き込む、冷たく湿った北東の風を何と呼びますか。 (2020年 埼玉県公立入試 類似)
1. からっ風
 2. 季節風
 3. フェーン
 4. やませ
- 問6 岩手県の南部鉄器においてIH調理器に対応した製品が開発されたり、青森県の津軽塗においてスマートフォンのカバーが作られたりしています。伝統的工芸品の産業において、このような取り組みが行われている背景として最も適切なものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 天然の原材料の使用を全面的に禁止し、現代の工業製品と同じプラスチック素材へ置き換えることで耐久性を高めるため
 2. 手作業による工程をすべて廃止し、機械による大量生産に切り替えることで、製品の価格を大幅に下げるため
 3. 伝統的な技法を維持するために、江戸時代から続く製品の形や用途を一切変えずに保存することを目的とするため
 4. 伝統的な技術を守りつつ、現代の生活様式に合わせた製品開発を行うことで、国内外への販路を拡大するため
- 問7 本州最北端に位置する青森県の産業的特徴について、統計から読み取れる傾向を説明したものとして最も適切なものはどれですか。なお、この県の統計では製造品出荷額等が約11兆円、米の産出額が666億円、延べ宿泊者数が約2万4千という数値が示されています。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 第一次産業から第三次産業までが均衡しており、製造品出荷額等と米の産出額の差がほとんど見られない。
 2. 伝統的な農業県としての特色を維持しており、米の産出額が製造品出荷額等を大きく上回っている。
 3. 米の産出額などの農業生産に比べ、製造品出荷額等に代表される工業生産の規模が極めて大きい。
 4. 観光業が産業の柱となっており、延べ宿泊者数に関連するサービス業の収益が工業生産を凌駕している。
- 問8 本州の太平洋側、特に東北地方の三陸海岸付近で見られる、山地が沈み込んで形成された複雑に入り組んだ海岸線の名称と、その地域で夏に吹く、農作物に影響を与える冷たく湿った北東の風の名称の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. フィヨルド — 季節風
 2. リアス海岸 — からっ風
 3. 砂浜海岸 — やませ
 4. リアス海岸 — やませ
- 問9 東北地方の各県において、主要な幹線道路である高速道路の路線図と工場の所在地を重ね合わせると、特定の地点に工場が集中している様子が見えてくる。この工業の特徴に関する記述として、正しいものはどれか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 地元の鉄鉱石資源を有効活用するため、高速道路沿いの炭鉱跡地に製鉄所が建設され、重工業の中心となっている。
 2. 高速道路の利便性を活かし、シリコンロードとも呼ばれる半導体や電子部品の生産拠点が形成されている。
 3. 輸入した原油を加工するため、高速道路の終点となる大規模な貿易港に石油化学コンビナートが集中している。
 4. 輸送費を抑えるため、重い部品を扱う自動車の組み立て工場が、高速道路のサービスエリア内に設置されている。
- 問10 岩手県盛岡市などの統計において、1993年や2003年には7月・8月の平均気温が摂氏20度を下回るほど低くなり、これに伴って米の収穫量が半年の半分以下まで激減したことが記録されています。このような深刻な冷害を引き起こした気象現象の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 夏に南方の海洋から吹き込む、高温で湿った南東の季節風の影響
 2. 冬に日本海側から山を越えて太平洋側に吹く、乾燥した北西の風の影響
 3. 夏にオホーツク海側から吹き込む、冷たく湿った北東の風の影響
 4. 夏に山を越えて吹き下ろす、高温で乾燥した風の影響
- 問11 東北地方の太平洋側において、夏に「やませ」が長期間吹き続けた際に発生する、農業への具体的な影響と背景の説明として正しいものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 日照不足や気温の低下を招き、稲の生育を妨げて冷害の原因となる。
 2. 強い風によって稲が倒伏し、収穫直前の農作物に物理的な被害を与える。
 3. 海からの暖かい湿った空気をもたらし、稲の成長を促進させて豊作をもたらす。
 4. 太平洋側に乾燥した熱風をもたらす、干ばつによって農作物を枯れさせる。
- 問12 福島県内陸部に位置する若松は、太平洋沿岸の小名浜に比べて冬の気温が低く、年間の気温の変化（年較差）が大きいという特徴があります。若松の1月の平均気温が約1度、年間の降雪日数が約102日であるのに対し、小名浜の1月の平均気温は約4度、降雪日数は約24日となっています。若松において、冬の降雪日数がこれほどまでに多くなる地理的な要因として最も適切なものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
1. 日本海側から吹き込む湿った季節風の影響を強く受けるため
 2. 黒潮（日本海流）の影響で大気が不安定になり、雪雲が発達しやすいため
 3. シベリア高気圧から吹き出す乾いた風がフェーン現象を起こして冷え込むため
 4. 太平洋側から吹き込む湿った南東の季節風が奥羽山脈を越えてくるため